

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	トークネットホール(仙台市民会館)
2 指定管理者	東北共立・陽光ビル企業体
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 154,160人(前年度比 90.9%) ※令和7年2月1日～3月31日は空調設備の冷却塔更新工事により大ホール及び小ホール利用を休止 令和5年度 169,632人 令和4年度 162,085人
	《事業》 ・施設の管理運営 ・自主事業の実施
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 242,126千円 (242,161千円) ・ その他市が負担した費用 61,143千円 (1,639千円)
	《収入》 ・ 使用料収入 61,064千円 (64,812千円) ・ その他収入 19,424千円 (19,816千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート(令和6年9月1日～16日、令和7年3月1日～19日) ・利用者懇談会(2団体・令和6年11月25日、令和7年2月15日) ・ご意見記入シート(施設利用ごとに配付) ・来館者アンケート(共用ロビーに通年設置)

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	個人情報保護に関する年度研修を実施しているほか、日常的な指導を徹底している。マニュアル等の活用により公平性を担保したほか、必要な方に合理的配慮を提供している。モニタリングの結果を踏まえた業務改善(修繕・提案改善等)を実施している。青葉まち課と情報共有を密にし、貸館対応、大型修繕等を円滑に進めている。	45/45
II 施設の運営管理体制	情報セキュリティに関する年度研修を実施しているほか、日常的な指導を徹底している。事故防止対策への取り組みでは、類似施設における事故情報等を共有し、必要に応じた臨時点検を行っているほか、事故対応責任者(支配人)不在の際の対応手順も明確にしている。防災訓練については、より実践的なものとなるよう工夫して実施している。また、マニュアルは災害のほか、各種緊急事態を想定して整備している。	31/31
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全を考慮した施設設備の適切な維持管理を行っている。不要照明の消灯・間引き節電に加え、照明のLED化を進めるなどのほか、リサイクル、リユースなどによる環境への配慮にも取り組んでいる。また、照明や空調については、施設の特性を熟知した職員が利用状況を踏まえて管理することで冷暖房等の空調設備の省エネに努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	施設のサービス水準を確保するため、施設に沿ったマニュアルの活用や、定期的なスタッフミーティングを行い全職員が認識を共有した上でサービスを提供している。また、文化拠点施設として、様々な問い合わせ等にも適切に対応している。 事務室に舞台相談窓口を設置し、舞台を利用する場合の演出や必要な手続に関する相談に常時対応している。 苦情・指摘事項等を受けた対応策、及び施設からの回答等をロビー掲示板にて公表している。	27/27
V 施設固有の基準	自主企画事業の案内・招待等のほか、近隣小学校の課外授業(施設見学)に協力し、近隣住民とも良好な関係を維持している。また、自主事業の実施により文化芸術の普及発展に寄与している。周囲への影響が見込まれる催事は、来場者等のゴミ・騒音問題等に主催者と連携して対応している。 「定禅寺クリーンアップ」への参加、「絆まつり西公園PV」への協力等を実施したほか、桜ヶ岡市街地住宅との合同防災訓練、「花いっぱい」事業等を通して良好な関係を維持した。	4/3

三 評価総括

《指定管理者（東北共立・陽光ビル企業体）による自己評価》
施設運営については、事業方針に掲げる「人が集い賑わいのある街のステージ」の実現に向けて利便性と満足度の向上に取り組み、利用者からの要望を受けた大ホール2F客席への手摺の新設や、ロビー電源(コンセント)の形状変更等、寄せられた声を反映させながら業務にあたりました。 地域社会との関わりでは、東北絆まつりへの協力や定禅寺街づくり協議会への参加、小学校の課外授業(施設見学)やインターンシップ生の受入れ等、公的施設としての役割を果たしながら良好な関係を維持することができました。 施設設備の維持管理は、利用者の安全確保と機能維持を最優先に考えた修繕及び衛生管理を実施したほか、持続性と環境負荷の低減に向けた館内蛍光灯器具のLED化を進めました。 賑わい創出並びに芸術文化の普及啓発を目的に実施している自主企画事業では、「復刻の音色」をはじめ「工作ワークショップ」「舞台技術講座」の各事業が、いずれも鑑賞整理券の配布、参加者募集の開始から短期間で定員に達する等、大変好評をいただきました。 また、年度末には能舞台にスポットを当てた市民公開講座を実施し、伝統芸能の魅力を広く発信いたしました。令和7年度以降に能舞台の利用増加が見込まれることをきっかけに創案した企画でしたが、来場者から高い評価を得ることができました。 一年を通して市民への演奏及び鑑賞する機会の提供、子供たちの想像力を形にするワークショップ、伝統芸能の継承と、幅広い分野の事業をバランス良く実施できたと考えております。 施設は開館から50年以上が経過し、設備面で市民・利用者にご不便をお掛けすることもありましたが、引き続き寄せられた意見・要望等を精査しながら使いやすい施設を目指してまいります。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
利用者の減少については、空調設備の冷却塔更新工事のため、2月から3月にかけて大ホール及び小ホールの利用を制限したことによるもの。 施設運営については、大ホール2F客席への手摺の新設や、ロビー電源(コンセント)の形状変更等、利用者からの要望や寄せられた声をもとに、常に利便性、満足度の向上を念頭に業務に当たった点を評価する。 施設設備の維持管理においては、施設の老朽化が進む中で、利用者の安全確保と施設の機能維持を最優先に修繕等を実施するとともに、館内蛍光灯器具のLED化を継続して進めた点を評価する。 自主企画事業では、継続して実施してきている「復刻の音色」、「工作ワークショップ」、「舞台技術講座」が短期間で定員に達するなど、これまでの取り組みが浸透、定着してきていると感じさせる。新たな取り組みとして実施した「能舞台にスポットを当てた市民公開講座」についても来場者から高い評価を得るなど、幅広い分野を意識した取り組みを評価する。 今後も、利用者からの要望や寄せられた声を大切にしながら、利用者の安全確保と利便性、満足度の向上に取り組んでいきたいと考える。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課): 青葉区まちづくり推進部まちづくり推進課